

徳島県水道ビジョン（素案）について

1 趣 旨

県民の皆様に安全・安心な水を供給し続けられる水道の事業基盤の確立を図るため、本県の水道事業の課題を明らかにした上で、中長期的な視点で水道事業の将来のあり方を設定し、県内の水道事業者が、目指すべき方向性や取るべき方策及び連携策を示す。

2 目標年度

2028年度

3 理 念

「おいしい水を いつでも どこでも いつまでも」

4 取組みの方向性及び主な実現方策

（1）安心しておいしく飲める「安全な水道」

- ① 水質管理水準の向上
 - ・ 高度な水質管理手法となる「水安全計画」の策定と活用
- ② 水源汚染リスク対応
 - ・ 水資源の保全と水質汚濁発生時の適切な対応

（2）「事前復興」に資する「強靱な水道」

- ① 「事前復興」に資する水道施設の優先整備の推進
 - ・ 土砂災害特別警戒区域や浸水地域等の水源地、浄水場等の基幹施設の整備
 - ・ 重要給水施設基幹管路等の耐震化
 - ・ 豊富で多様な水源を活用した緊急時連絡管の設置や停電対策などの「リダンダンシーの確保」
- ② 災害時の危機管理体制の強化
 - ・ BCPの観点や受援を念頭においた応急給水計画や危機管理マニュアル等の整備

（3）健全で安定した事業経営が「持続する水道」

- ① 健全な経営基盤の構築と適正化
 - ・ 中長期的な経営基本計画である「経営戦略」の策定
 - ・ 適正な規模による施設の再構築及び最適配置の検討
- ② 技術力の継承
 - ・ 長期的な視点に立った専門職員の育成・確保
- ③ 広域連携の推進
 - ・ 多様な連携を段階的に推進する「発展的広域化」による経営基盤の強化
 - ステップ1 業務の共同化等
 - ・ 施設の共同化や管理の一体化、緊急時連絡管による広域融通
 - ステップ2 経営の一体化（水平経営統合）
 - ・ 全国に先駆け、料金差にとらわれず水道事業のみの「水平経営統合」
 - ・ ブロック単位での広域連携の推進
 - 県内1水道を目指し、地理的条件や事業者間の差異を考慮し、「東部」、「南部」、「西部」の3ブロックで「発展的広域化」を検討